

地質サイトカード

カードNo.		A-①-15	通しNo.	15	作成日	2025/4/28	
サイト名		そうづ はしよくだな 惣津の波食棚					
基本情報	エリア	島根半島 探訪サイト					
	区分	☒ 地質・地形	☐ 生態	☐ 文化			
	利用価値	☒ 科学	☒ 教育	☐ 観光・ツアー			
	所在地	松江市美保関町七類惣津					
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約18km、約30分。海辺に降りて観察できる。					
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☐ 駐車場(台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設()					
	看板整備	県道沿いの展望台に2枚、海辺に1枚設置					
	留意点					位置情報	e-2
保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園					
	保全メモ						
サイトの解説	みどころ	淡水～汽水成の古浦層と深海成の黒色泥岩からなる成相寺層との境界。					
	地質・地形	惣津海岸には波食棚が広がっており、干潮時には広く地層が観察できる。南側には淡水から汽水成の古浦層が露出する。この古浦層は砂岩泥岩互層からなり、細礫岩層も挟まれる。砂岩や礫岩には級化構造(上に向かって粒径が細くなる構造)が発達し、当時の湖あるいは汽水域の斜面に発生した混濁流により形成された地層であることを示す。この上位には日本海の拡大に伴って深海底に堆積した黒色泥岩が広く分布する。また、当時は海底火山活動も盛んで、海底下から上昇したマグマが固結した玄武岩質の岩石や、まだ海水を多く含んでいた海底の泥に、地下からのマグマが触れて水蒸気爆発を起こし、マグマの破片と泥岩とが混ざった産状を示すペペライトが観察できる。さらに、道路から見て逆U字型を示す褶曲構造(背斜構造)が認められる。この褶曲構造はマグマの貫入により上位の地層が湾曲して形成されたと考えられている。北側にある明島(めいじま)は粗粒玄武岩からなる貫入岩でできた岩塊からなり、地層に調和的な貫入岩の周縁細粒相や、貫入の熱で焼かれた泥岩が観察できる。					
	歴史・文化 生物・生態 等	明島の頂上には明島神社があり、以前は明島の中腹の広場で奉納相撲が行われていた。 1992(令和4)年には明島から200mほど東の民家に隕石が落下直撃した。					
写真・図等							
参考文献		島根地質百選、島根半島四十二浦巡りの旅、鹿野和彦・吉田史郎(1985)境港地域の地質、山内靖喜ほか(1980)島根半島の中新統、日本地質学会第87年総会・年会、見学旅行案内書、第2班、39p					